

平成 25 年 度

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

公益財団法人四万十川財団事業及び決算報告書

公益財団法人 四万十川財団

目 次

1	事業報告書	1
2	貸借対照表	11
3	正味財産増減計算書	12
4	正味財産増減計算書内訳表	14
5	財務諸表に対する注記	16
6	附属明細書	19
7	財産目録	20
8	監査報告書	21

平成25年度 公益財団法人四万十川財団事業報告

I 事業概要

- 1 四万十川の清流保全のため、ボランティアグループとの連携による間伐推進や森林ボランティアの養成、支援などに取り組みました。
- 2 国に文化財として選定された「四万十川流域の文化的景観」を地域の貴重な資源として保全・活用し、地域づくりに活かす取組を進めました。
- 3 四万十川の上流域から下流域まで、環境保全やグリーンツーリズムなどの取組を行っている人や地域資源を発掘し、全国への情報発信することなどを通じて、地域の交流人口の拡大を図りました。
- 4 四万十川における流域内交流や流域外との交流増に取り組みました。
- 5 地域資源を活用した「四万十ブランド認証制度」の周知と円滑な運用に努め、財団ホームページなどで認証品のPRや紹介等を通じて販売促進を図り、流域の振興に努めました。
- 6 四万十川の清流保全のため、地域のマンパワーの活用や流域5市町が一体となった新たな取組について検討しました。

以上の基本的な考えのもと、平成25年度については次の事業を実施しました。

(公1) 清流四万十川の環境保全に寄与する事業

(1) 四万十川の日事業

日時：2013年7月21日 参加者 親子30名

場所：四万十市間崎 四万十川の干潟（生物観察）

四万十市山路 アカメ館 屋形舟

四万十市具同 トンボ公園（川の生物の学習・生きもの探しゲーム）

講師：トンボと自然を考える会 杉村光俊さん 野村彩恵さん

四万十川の日（7月25日）の制定趣旨に沿うため、四万十川の保全への理解が深まるよう、7月21日（日）四万十市において、高知県下の小学生と保護者を対象とし、河口域の干潟で生物を採取して観察したり、とんぼ自然公園で四万十川の生物について学んだりする体験等を通じて、川の環境について考える体験イベント、『四万十川の生きものはかせ！遊んで学ぼうわくわく楽校♪』を開催しました。予定していた募集人数の倍を上回る応募があり、当日は

11組30名の親子が参加し、講師の杉村光俊氏・野村彩恵氏（いずれも（公社）とんぼと自然を考える会）指導のもと、川の生物及び生態系について学びました。

（２）四万十川一斉清掃支援事業

四万十町 平成 25 年 3 月 31 日（日）
四万十市・中土佐町・津野町 平成 25 年 4 月 7 日（日）（西土佐は中止）
梶原町 平成 25 年 4 月 14 日（日）
参加者計 約 5500 人

ホームページおよび各自治体の広報や新聞折り込みチラシなどで呼びかけ、住民の皆さんに清掃への協力を促しました。本年度は各自治体の都合もあって、3月31日（日）に四万十町、4月7日（日）に津野町・中土佐町・四万十市（西土佐地区は増水のため中止）、4月14日（日）に梶原町と、3つの日程に分かれての開催となりました。特に4月7日は激しい風、上流では雪の舞う荒天で、四万十市の西土佐地区では増水のため中止としましたが、トータルで見ると地元住民や高知市などからの清掃ボランティアを含む約5,500人が参加し、参加者は前年比1割増となりました。

（３）森林ボランティア活動促進事業

平成 25 年度四万十樵養成塾 参加者：9 名（全員チェーンソー手帳取得）
日時：2013 年 11 月 29 日（金）～12 月 1 日（日）
場所：津野町船戸 せいらんの里周辺

流域の森林を緑豊かな保水力のある山に戻すため、安全に対する知識と基本的技術を身につけた森林保全ボランティアを養成する講座「四万十樵養成塾」を11月29日から12月1日の2泊3日の日程で開講しました。ホームページでの告知および流域市町でのチラシ掲示により9名の森林ボランティアを志す方々が参加し、高知大学フィールド技術室室長今安清光氏指導の下、全員がチェーンソー手帳を取得しました。また、「四万十樵養成塾」の卒業生等が組織し、間伐の推進に取り組む森林ボランティアグループ「四万十樵塾」にチェーンソーの貸出などを行い、その活動を支援しました。11月2日には流域の森林保全ボランティアグループが一堂に会する場をもち、今後必要な場合は協力体制をとりながら流域の森林保全に努めていくことで意見が一致しました。

(4) 清流の森づくり事業

清流の森作りの今後の事業展開の参考とするために、自伐型小規模林業を先進的に手がけている北広島町のせど山事業を視察しました。また、あわせて北広島町の生物多様性への取組みについて研修してきました。

平成25年10月7・8日 広島県北広島町視察 幹事会6名参加

芸北高原の自然館 せど山事業および生物多様性への取組みの説明

雲月山野生生物保護区、霧ヶ谷湿原で自然再生事業の実際を視察。

せど山事業の集材場を視察

北広島町役場本庁舎401会議室	町の取組みの説明を受ける
・企画課 政策立案室 道川智治	生物多様性の町づくり 具体例
・商工観光課 観光振興係 藤井明美	農山村体験推進事業（事業具体例）
・芸北高原の自然館 白川勝信	生物多様性の取組み全般について

(5) 清流通信作成事業

毎月1号ずつ配信。7月には通算200号を発行。それを記念して四万十大使に色紙にサインをしてもらい、それを読者にプレゼントしました。

4月	第198章	四万十川を守ろう！バナナ
5月	第199章	四万十町打井川に受け継がれる諸伝説
6月	第200章	祝！200章
7月	第201章	平成25年度四万十川の日事業
8月	第202章	自然とともに 川漁師のムラに生まれて
9月	第203章	四万十川の百名花
10月	第204章	四万十川すみずみツアーリズム
11月	第205章	一斗俵沈下橋と清水大橋
12月	第206章	津野町地域おこし協力隊
1月	第207章	鶴と四万十
2月	第208章	カゴノオト
3月	第209章	四万十ブランドに新商品が仲間入り！！

県内外への情報発信については、『清流通信・四万十川物語』を取材・編集して、年度末までの12回、毎月（25日前後）情報発信しました。送信先は、国・県・市町村・マスコミ・旅行会社・四万十川財団会員などで、現在862件（Eメール；平成26年3月末現在）の送信をしています。平成12年より運営しているホームページは、平成24年4月1日よりリニューアルし、季節

毎のイベント情報や流域トピックスなどタイムリーな情報を、より魅力的に情報発信に努めました。25度のホームページへのアクセスは約1万9千件（昨年度比45%増）で、開設以降、累計で約44万アクセスとなりました。また、四万十川財団のフェイスブックを始め、四万十川流域の旬な情報の発信に努めました。

(公2) 四万十川流域の振興を図るための事業

(1) 文化的景観づくり推進事業

第1回 平成25年4月24日(水) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・仕様書の完成 ・スケジュール確認 ・請負者選定の基準
・参加者への呼びかけ 等

第2回 平成25年6月28日(金) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・学生キャンプの業務委託について

第3回 平成25年7月16日(火) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・学生キャンププロポーザル・審査・打合せ

第4回 平成25年7月26日(金) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・田中先生の謝金について ・濱田企画と打合せ ・全国大会に向けて
四万十川流域5市町連携学生キャンプ2013

8月7日(水)～8月10日(土) 学生18名参加

第5回 平成25年9月2日(月) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・学生キャンプ振り返り ・レポート提出期限について
・全国大会に向けて ・今後の活動について

第6回 平成25年10月16日(水) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・報告書の内容・形式の検討、学生キャンプ反省について ・濱田企画から
学生キャンプの成果と課題について報告 ・次年度以降の計画について

第7回 平成25年11月12日(火) (窪川四万十会館 多目的室)
・学生の発表に対する行政の回答まとめについて ・濱田企画との随意契約
について ・平成26年度学生キャンプの計画

第8回 平成25年11月29日(金) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・今後のスケジュール確認 ・キャンプ報告 ・H26年度学生キャンプに
ついて森先生と話し合い

第9回 平成25年12月24日(火) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・現状確認 ・今後のスケジュールについて ・H26年度学生キャンプ
について

第10回 平成26年1月7日(火) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・H26年度学生キャンプについて ・今後のスケジュールについて

第11回 平成26年1月24日(金) (奈良市西大寺 FamilyNara B1)
・26年度学生キャンプについて 京都文教大学森正美先生と打合せ
・この後のスケジュールについて

第12回 平成26年2月14日(金) (須崎土木四万十町事務所1F会議室)
・森先生との打合せについて報告 ・H26年度学生キャンプについて 日程・

仕様書・業者委託について（委託内容・委託先候補） ・ 25年度参加学生の
関わり方について ・ H25年度報告書について

第13回 平成26年3月10日（月）（須崎土木四万十町事務所1F会議室）

- ・平成26年度学生キャンプ 企画・仕様書について
- ・キャンプ目標について
- ・四万十市（黒尊）、梶原（松原） 工程表 ・集合、ガイダンスの場所
- ・シンポジウムについて ・委託について ・森先生との話から

国から文化財として選定された、人と自然が作りあげてきた流域の景観を保存・活用するため、「四万十川流域文化的景観連絡協議会」（事務局：四万十川財団）を13回開催し、文化的景観の整備計画に関する情報や意見交換、流域連携事業などのテーマについて検討をしました。

25年度は新たな企画として五市町連携の学生キャンプを行いました。全国から公募した18名の大学生、大学院生に3泊4日で流域を巡ってもらい、流域の新たな魅力を発見してもらいました。キャンプ最終日にはシンポジウムを行い、地域の問題解決への提案や文化的景観の活かし方等について発表・討論をしてもらいました。

また『四万十川流域の文化的景観』マップパンフレットを改訂、5千部を印刷しました。

（2）流域活性化支援事業

第1回役員会 於 こんぴら 4月18日（木）

第2回役員会 於 こんぴら 5月21日（火）

第1回四万十川すみずみツーリズム連絡会総会

於四万十楽舎 6月18日（火）

- ・平成24年度実績報告および収支決算・会計監査報告
- ・平成25年度事業計画（案）および収支予算（案）
- ・会則改正 ・役員改選 ・FB講座

第3回役員会 於 こんぴら 9月3日（火）

第2回四万十川すみずみツーリズム連絡会 於鷹取の家 9月30日（月）

- ・鷹取の家さん紹介 ・スタンプラリーについて ・経済効果調査に関する説明

第4回役員会 於 こんぴら 11月11日（月）

第3回四万十川すみずみツーリズム連絡会

於 ウェル花夢 12月20日（金）

- ・スタンプラリー会計報告 ・スタンプラリー経過報告

・すみずみFBについて ・第2回FB講座
第5回役員会 於 こんぴら 3月6日(木)

流域内の体験型施設(農家民宿など)で組織した「四万十川すみずみツーリズム連絡会」(事務局:四万十川財団)の活動を支援し、情報交換や研修などを行い、集客受入態勢の強化を図りました。また、財団ホームページ・フェイスブックなどを通じ、全国に情報発信をしました。

今年度は新たな取り組みとして、四万十川を広く巡ってもらうためのスタンプラリーを実施しました。

(3) 四万十リバーマスター育成事業

平成25年度リバーマスター連絡会

内容:四万十川財団について・昔の川について・子供を川に帰すために
各開日時・開催場所・参加人数は以下のとおり

3月 3日(月)	大正地区(大正公民館)	2名参加
3月 3日(月)	十和地区(十和支所)	2名参加
3月 4日(火)	西土佐地区(四万十楽舎)	6名参加
3月 4日(火)	中村地区(四万十市中央公民館)	10名参加
3月 5日(水)	津野・梶原地区(BG)	2名参加
3月 5日(水)	窪川・大野見地区(四万十川財団事務所)	3名参加

88名にリバーマスターを委嘱し、四万十川を訪れる観光客等にマナーアップの指導や危険情報等の提供をしていただきました。また、今年度は3月に流域6箇所で開催し、四万十川の状況や観光客などの動向について意見交換を行いました。

(収1) 四万十ブランド認証事業

第20回四万十ブランド認定委員会 7月19日(金) 高知県民文化ホール
多目的室

四万十スイートファーマーズ ・四万十の情熱生姜・生姜糖・生姜パウダー
3品認定

第21回四万十ブランド認定委員会 3月13日(木) 高知県民文化ホール
第10多目的室

中土佐町大野見 西村善徳氏 ・奥四万十の風 生姜 1品認定

地域資源を活用した「四万十ブランド認証制度」の周知と円滑な運用に努め、財団ホームページなどでの認証品PRや紹介等を通じ、販売促進や生産者を支援する活動に努めました。

25年度はブランド認証の申請が2件あり、7月19日には四万十スイートファーマーズ（代表：茨木良太氏）の「四万十の情熱生姜」「生姜糖」「生姜パウダー」、3月13日には西村善徳氏の「奥四万十の風 生姜」が新たに四万十ブランド認定商品となりました。今現在、ブランド認定商品は6団体14品目です。

（その他）

◎ 会員制度の実施

四万十川の保全と振興を進める当財団の活動に理解を深めてもらい、会員加入の継続増加を諮るため、周知に努めました。その結果、会員数は126人となっています。

◎ 四万十川基金

高知青果市場や西日本セイムス、四万十農業協同組合、四万十川リバーサイドフルウォーク実行委員会、四万十川ウルトラマラソン実行委員会などから寄附を受入れました。

◎ 四万十町（担当：企画課）・四万十市（担当：観光課）が共同開催を計画している「四万十川展（仮称）」の事務局 7月5日から計11回の会をもち、企画書を作成。今後流域で連携しての取組みの可能性を探ります。

◎ 樵塾と提携して、流域の森林ボランティアネットワークを構築しました。
11月2日（土）四万十川流域森林保全ボランティア団体連携のため準備会参加団体：朝霧森林倶楽部・四万十樵塾・四万十次世代の会・四万十の森救援隊シマントモリモリ団・遊山会 12名

○ 7月30日（火）埼玉県議会 自然再生・循環社会対策特別委員会視察
対応

○ 11月24日（日）白神山地世界自然遺産登録20周年記念シンポジウム
弘前大学みちのくホール

・ マスコミ対応

・ 環境学習補助

・ 研修・講座・シンポジウム等参加 等

重要議決事項

議決年月日	議 決 事 項	
平成25年6月3日 (第1回通常理事会)	第1号議案	平成24年度財団法人四万十川財団事業報告及び収支決算について
	第2号議案	平成25年度公益財団法人四万十川財団事業計画(案)及び収支予算(案)について
	第3号議案	平成25年度公益財団法人四万十川財団定時評議員会の開催について
平成25年6月24日 (第1回定時評議員会)	第1号議案	平成24年度財団法人四万十川財団事業報告及び収支決算報告
	第2号議案	平成24年度財団法人四万十川財団貸借対照表・損益計算書(正味財産増減計算書)・財産目録について
	第3号議案	理事の選任について
	第4号議案	監事の選任について
	第5号議案	評議員の退任について
	第6号議案	評議員の選任について
平成25年6月26日 (第1回臨時理事会 決議省略)	第1号議案	公益財団法人四万十川財団の理事長(代表理事)として、高知県高岡郡中土佐町久礼98番地 池田洋光氏(中土佐町長)を選定する
平成26年3月26日 (第2回通常理事会)	第1号議案	平成26年度公益財団法人四万十川財団事業計画(案)及び収支予算(案)について
	第2号議案	平成25年度公益財団法人四万十川財団事業報告について

登記事項

官庁名	登記年月日	登記事項（敬称略）
高知地方法務局	平成25年4月1日	平成25年4月1日 評議員の就任 植田英久、内田洋子、坂本東男、下元昇、田中全、谷脇幸秀、宇野恒生、小松句美、矢野富夫 代表理事の就任 池田洋光 理事の重任 池田洋光、田村壮児、大塚和助、沖本英城、澤良木庄一、土居武夫、福留脩文、山本昇平 監事の就任 池田三男、高野慶太
高知地方法務局	平成25年6月27日	平成25年6月24日評議員の辞任 田中全、宇野恒生 平成25年6月24日評議員の就任 中平正宏、美馬幹晃 平成25年6月24日理事重任 池田洋光、田村壮児、大塚和助、沖本英城、澤良木庄一、土居武夫、福留脩文、山本昇平 平成25年6月24日理事就任 池田三男 平成25年6月24日監事辞任 池田三男 平成25年6月24日監事就任 高瀬満伸 平成25年6月26日代表理事重任 池田洋光
高知地方法務局	平成25年12月16日	平成25年12月10日 理事死亡 福留脩文

貸借対照表

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	6,492,378		
普通預金	6,492,378		
立替金	196		
流動資産合計	6,492,574		
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000		
基本財産合計	10,000,000		
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	1,208,920		
四万十川基金	47,143,851		
特定資産合計	48,352,771		
(3) その他固定資産			
車両運搬具	46,109		
什器備品	703,173		
出資金	1,500		
その他固定資産合計	750,782		
固定資産合計	59,103,553		
資産合計	65,596,127		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,443,953		
預り金	128,842		
流動負債合計	1,572,795		
負債合計	1,572,795		
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	10,000,000		
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)		
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	54,023,332		
(うち特定資産への充当額)	(48,352,771)		
正味財産合計	64,023,332		
負債及び正味財産合計	65,596,127		

(注) 平成20年度公益法人会計基準適用初年度のため、前年度及び増減額に記載すべき金額はない。

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,499		
基本財産受取利息	2,499		
特定資産運用益	95,631		
特定資産受取利息	95,631		
事業収益	22,000		
ブランド事業収益	22,000		
受取補助金等	15,176,505		
高知県補助金	8,380,648		
保全機構補助金	6,795,857		
受取寄付金	874,806		
受取寄付金	669,806		
会員寄付金	205,000		
雑収益	4,508		
受取利息	8		
雑収益	4,500		
経常収益計	16,175,949		
(2) 経常費用			
事業費	11,720,167		
給料手当	9,743,440		
給与等	3,148,038		
期末手当	615,825		
社会保険負担等	604,040		
給与等(事業)	2,316,881		
期末手当(事業)	465,250		
社会保険等(事業)	411,302		
給与等(経理)	1,563,280		
期末手当(経理)	325,338		
社会保険等(経理)	293,486		
福利厚生費	7,000		
旅費交通費	355,316		
通信運搬費	83,944		
消耗品費	292,758		
修繕費	66,150		
印刷製本費	553,993		
燃料費	101,107		
賃借料	53,514		
保険料	117,024		
諸謝金	160,000		
支払負担金	3,000		
委託費	70,060		
新聞図書費	20,600		
手数料	58,871		
交際接待費	33,390		

科 目	当年度	前年度	増 減
管 理 費	3,308,792		
給 料 手 当	870,396		
給 与 等	349,782		
期 末 手 当	68,425		
社 会 保 険 負 担 等	67,115		
給 与 等 (経 理)	275,872		
期 末 手 当 (経 理)	57,412		
社 会 保 険 等 (経 理)	51,790		
福 利 厚 生 費	87,800		
会 議 費	3,150		
旅 費 交 通 費	320,448		
通 信 運 搬 費	311,746		
消 耗 品 費	236,883		
修 繕 費	30,135		
印 刷 製 本 費	412,821		
燃 料 費	170,463		
賃 借 料	97,120		
保 険 料	53,770		
租 税 公 課	70,500		
支 払 負 担 金	3,000		
雑 費	10,000		
新 聞 図 書 費	198,268		
手 数 料	119,440		
商 品 購 入 費	89,870		
共 益 費	222,982		
経常費用計	15,028,959		
評価損益等調整前当期経常増減額	1,146,990		
特定資産評価損益等	-15,316		
特定資産評価損益等	-15,316		
評価損益等計	-15,316		
当期経常増減額	1,131,674		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
当期一般正味財産増減額	1,131,674		
一般正味財産期首残高	52,891,658		
一般正味財産期末残高	54,023,332		
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	10,000,000		
指定正味財産期末残高	10,000,000		
III 正味財産期末残高	64,023,332		

(注)平成20年度公益法人会計基準適用初年度のため、前年度及び増減額に記載すべき金額はない。

正味財産増減計算書内訳表

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		小 計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基金	0	0	2,499	0	0	0	2,499
特定	0	0	2,499	0	0	0	2,499
事業	0	0	0	0	95,631	0	95,631
「ラン」	0	0	0	0	95,631	0	95,631
受取	0	0	0	0	0	0	0
高保	0	0	0	22,000	0	0	22,000
受取	0	0	0	22,000	0	0	22,000
全取	3,288,407	3,379,070	11,467,285	474,653	3,234,567	0	15,176,505
機構	1,088,504	1,456,335	6,400,713	157,491	1,822,444	0	8,380,648
寄附	2,199,903	1,922,735	5,066,572	317,162	1,412,123	0	6,795,857
取員	0	0	437,403	0	437,403	0	874,806
取員	0	0	334,903	0	334,903	0	669,806
取員	0	0	102,500	0	102,500	0	205,000
取員	0	0	8	4,500	0	0	4,508
取員	0	0	8	0	0	0	8
取員	0	0	0	4,500	0	0	4,500
取員	0	0	0	4,500	0	0	4,500
取員	3,288,407	3,379,070	11,907,195	501,153	3,767,601	0	16,175,949
(2) 経常費用							
料	3,413,556	3,379,070	11,244,884	475,283	0	0	11,720,167
手	2,467,113	2,536,041	9,455,412	288,028	0	0	9,743,440
手	349,782	699,564	3,148,038	0	0	0	3,148,038
手	68,425	136,849	615,825	0	0	0	615,825
手	67,115	134,229	604,040	0	0	0	604,040
手	1,158,441	1,042,596	2,201,037	115,844	0	0	2,316,881
手	232,627	209,361	441,988	23,262	0	0	465,250
手	205,652	185,085	390,737	20,565	0	0	411,302
手	275,871	91,957	1,471,323	91,957	0	0	1,563,280
手	57,411	19,137	306,201	19,137	0	0	325,338
手	51,789	17,263	276,223	17,263	0	0	293,486
手	7,000	0	7,000	0	0	0	7,000
手	197,117	78,461	275,578	79,738	0	0	355,316
手	23,559	59,615	83,174	770	0	0	83,944
手	229,340	63,418	292,758	0	0	0	292,758
手	22,050	44,100	66,150	0	0	0	66,150
手	159,194	387,757	546,951	7,042	0	0	553,993
手	41,604	59,503	101,107	0	0	0	101,107
手	40,504	4,250	44,754	8,760	0	0	53,514
手	24,624	92,400	117,024	0	0	0	117,024
手	20,000	50,000	70,000	90,000	0	0	160,000
手	0	3,000	3,000	0	0	0	3,000
手	70,060	0	70,060	0	0	0	70,060
手	20,600	0	20,600	0	0	0	20,600
手	57,401	525	57,926	945	0	0	58,871
手	33,390	0	33,390	0	0	0	33,390

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	公2	公益共通			
管給	0	0	0	3,308,792	0	3,308,792
料	0	0	0	870,396	0	870,396
手	0	0	0	349,782	0	349,782
理	0	0	0	68,425	0	68,425
与	0	0	0	67,115	0	67,115
当	0	0	0	275,872	0	275,872
等	0	0	0	57,412	0	57,412
当	0	0	0	51,790	0	51,790
等	0	0	0	87,800	0	87,800
費	0	0	0	3,150	0	3,150
当	0	0	0	320,448	0	320,448
等	0	0	0	311,746	0	311,746
等	0	0	0	236,883	0	236,883
費	0	0	0	30,135	0	30,135
当	0	0	0	412,821	0	412,821
等	0	0	0	170,463	0	170,463
費	0	0	0	97,120	0	97,120
当	0	0	0	53,770	0	53,770
等	0	0	0	70,500	0	70,500
費	0	0	0	3,000	0	3,000
当	0	0	0	10,000	0	10,000
等	0	0	0	198,268	0	198,268
費	0	0	0	119,440	0	119,440
当	0	0	0	89,870	0	89,870
等	0	0	0	222,982	0	222,982
費	3,413,556	3,379,070	4,452,258	3,308,792	0	15,028,959
共	-125,149	0	787,460	458,809	0	1,146,990
特	0	0	0	-15,316	0	-15,316
定	0	0	0	-15,316	0	-15,316
資	0	0	0	-15,316	0	-15,316
産	0	0	0	25,870	0	25,870
増	-125,149	0	787,460	443,493	0	1,131,674
減						
額						
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他	125,149	0	0	-125,149	0	0
計	0	0	787,460	318,344	0	1,131,674
当期一般正味財産増減額	0	0	787,460	51,906,075	0	52,891,658
一般正味財産期首残高	0	0	0	52,224,419	0	54,023,332
一般正味財産期末残高	0	0	787,460	0	0	0
指定正味財産増減の部	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	10,787,460	52,224,419	0	64,023,332
正味財産期末残高	0	0	10,787,460	1,011,453	0	11,798,913

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却法

什器備品は定額法で償却している。

(4) 引当金の計上基準

該当なし

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式により処理している、

(6) リース取引の処理方法

該当なし

3 会計方針の変更

当事業年度から「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
四万十川基金	46,519,124	765,192	140,465	47,143,851
減価償却引当資産	1,208,920	0	0	1,208,920
小 計	47,728,044	765,192	140,465	48,352,771
合 計	57,728,044	765,192	140,465	58,352,771

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	0	0
小 計	10,000,000	(10,000,000)	0	0
特定資産				
四万十川基金	47,143,851	0	(47,143,851)	0
減価償却引当資産	1,208,920	0	(1,208,920)	0
小 計	48,352,771	0	(48,352,771)	0
合 計	58,352,771	(10,000,000)	(48,352,771)	0

6 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	922,185	876,076	46,109
什器備品	2,219,908	1,516,735	703,173
合 計	3,142,093	2,392,811	749,282

8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務は保有していない。

10 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益
国債 第109回	10,015,616	10,000,000	△,15,616
合 計	10,015,616	10,000,000	△,15,616

1 1 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高知県補助金	高知県	0	8,380,648	8,380,648	0	—
四万十川総合保全機構補助金	流域5市町	0	6,795,857	6,795,857	0	—
合計		0	15,176,505	15,176,505	0	

1 2 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

1 3 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替は行っていない。

1 4 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

1 5 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

1 6 重要な後発事象

重要な後発事象は発生していない。

1 7 その他

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金（四国銀行／窪川支店）	10,000,000	0	0	10,000,000
	基本財産計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	四万十川基金				
	定期預金（四国銀行／窪川支店）	5,004,505	1,251	0	5,005,756
	定期預金（四国銀行／窪川支店）	10,014,534	3,004	0	10,017,538
	定期預金（四国銀行／窪川支店）		10,000,000	0	10,000,000
	定期預金（高知銀行／窪川支店）	4,530,494	1,131	0	4,531,625
	利付国債（四国銀行／窪川支店）	20,030,932	0	10,015,316	10,015,616
	決済用預金（四国銀行／窪川支店）	6,621,524	753,806	125,149	7,250,181
	振替口座（ゆうちょ銀行／ 01670-3-17069）	317,135	6,000	0	323,135
減価償却引当資産（高知銀行／窪川 支店）	1,208,920	0	0	1,208,920	
	特定資産計	47,728,044	10,765,192	10,140,465	48,352,771

2 引当金の明細

該当なし

財産目録

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
普通預金			6,492,378
一般通帳	四国銀行窪川支店	運転資金として	3,683,331
農協通帳	J A 四万十	運転資金として	65,199
ブランド通帳	四国銀行窪川支店	運転資金として	1,011,453
会員通帳	四国銀行窪川支店	運転資金として	1,436
ゆうちょ会員	ゆうちょ銀行	運転資金として	1,730,959
立替金	雇用保険		196
流動資産合計			6,492,574
(固定資産)			
基本財産			
定期預金			10,000,000
定期預金	四国銀行窪川支店	運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000
特定資産			
減価償却引当資産			1,208,920
減価償却引当資産	高知銀行窪川支店	運用益を管理費の財源として使用	1,208,920
四万十川基金			47,143,851
基金通帳	四国銀行窪川支店	運用益を管理費の財源として使用	7,250,181
ゆうちょ基金	ゆうちょ銀行	運用益を管理費の財源として使用	323,135
投資有価証券	第109回利付国債	満期保有目的で保有し、運用益を管理費の財源として使用	10,015,616
定期預金	四国銀行窪川支店	運用益を管理費の財源として使用	5,005,756
定期預金	四国銀行窪川支店	運用益を管理費の財源として使用	10,017,538
定期預金	四国銀行窪川支店	運用益を管理費の財源として使用	10,000,000
定期預金	高知銀行窪川支店	運用益を管理費の財源として使用	4,531,625
その他固定資産			750,782
車両運搬具			46,109
什器備品			703,173
出資金			1,500
固定資産合計			59,103,553
資産合計			65,596,127
(流動負債)			
未払金			1,443,953
事業及び管理業務未払額		公益目的事業未払い分	20,491
高新販売オリコミ社			18,958
佐川急便			1,533
事業及び管理業務未払額		公益目的事業及び管理業務未払い分	1,379,470
高知県補助金			597,352
四万十川総合保全機構補助金			620,487
高知西社会保険事務所			91,742
職員(時間外手当)			7,284
富士ゼロックス			35,751
J A 四万十(ガソリン代)			26,854
法人会計未払額		法人会計未払い分	43,992
N T T ほか 2件			21,596
くにさわ文具			22,396
預り金			128,842
社会保険			90,782
所得税			35,660
住民税			2,400
流動負債合計			1,572,795
負債合計			1,572,795
正味財産			64,023,332

監査報告書

公益財団法人 四万十川財団
理事長 池田 洋光 殿

平成26年6月3日

公益財団法人 四万十川財団

監事 中尾 博憲 印

監事 笹岡 俊一 印

私たち監事は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を開覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。